ベルリン・ドイツの社会運動について
（２０２５年１月２０日 JCA-NET セミナー）
by nori

今日話したいこと

- 自己紹介
- ベルリンの社会運動シーンについて
- デジタルセキュリティ・プライバシーに関する運動
- （以下は時間があれば）
- 弾圧に抗して：パレスチナ運動と救援運動
- 日本とドイツの植民地主義を問う：平和の少女像

ベルリン基本情報

- 人口約 370 万人
  - 1/4 が移民もしくは移民背景をもつドイツ国籍者
- 近年地価・賃料上昇が著しくジェントリフィケーション（家賃値上げ・再開発・低所得層の市街中心からの排除）が激しく進行している
- 社民党・キリスト教民主同盟のネオリベ「中道」連立市政
- 緊縮財政、補助金カットが相次ぐ
- 極右政党 AfD の台頭（ドイツ全体）

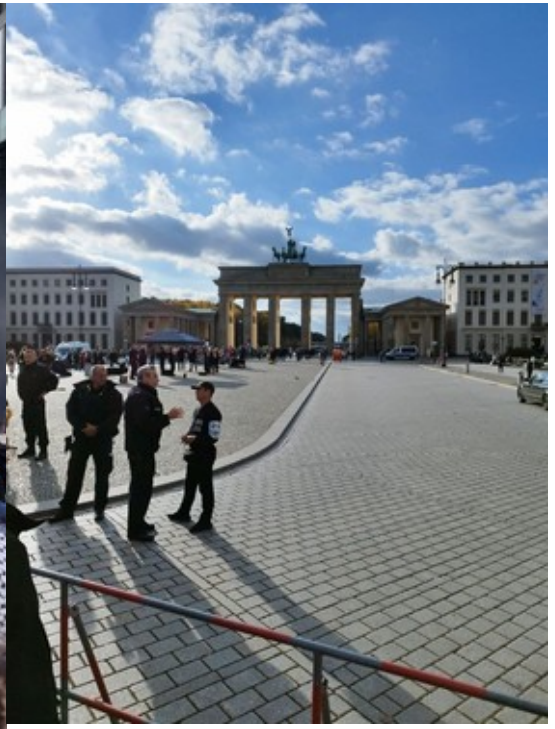
ベルリンの社会運動シーン

- 左派（ radical left 含む）は体感では日本の 10 〜 20 倍くらいいる
  - 議席のことではなく、デモや直接行動に参加する人々の数
- デモや集会に行くのは「普通」のこと

ベルリンの社会運動シーン

- デモでは長くスピーチの時間をとる、その後かなり長い距離を歩くことが多い（３～４時間とかよくある）
- デモ・屋外公共空間での集会は憲法で定められた権利だが日本と同様、実質許可制（オンラインで申請できる）
  - コース、時間などについて変更要求されることもある
  - 不当な変更要求については抗議／法的に訴える／場合によっては無届けデモ
- 申請人数にもよるが大きいデモでは全車線を使って歩く

デモの場面から



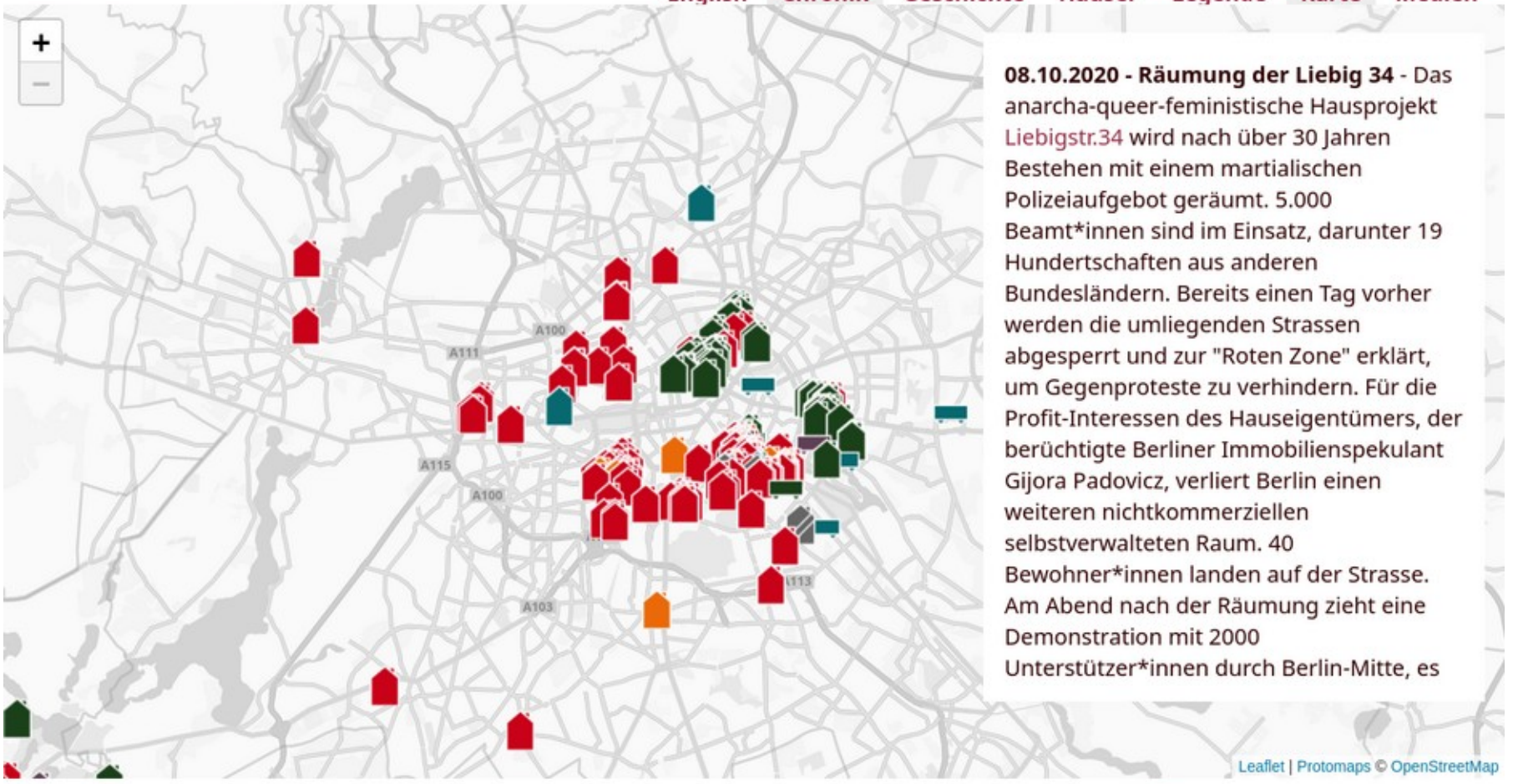
- 2025 年 10 月 11 日の“ United for Gaza” デモ
- 7 万人参加
- 警察はブランデンブルク門を封鎖して参加妨害の嫌がらせ

草の根の運動を支える自治スペース

- 元スクウォット（占拠）のスペース・ハウスプロジェクト
  - ほとんどが 90 年代までに合法化（賃貸契約を結ぶ、あるいは買い取り）された
  - イベントや会議を行うことができ重要
  - ジェントリフィケーションの進行により排除が進んでいる
  - スクウォットの歴史地図 https://berlin-besetzt.de/
- スクウォット由来ではないスペース
  - 共同運営（ collective ）のバー、カフェ、ギャラリーなど
  - 家賃値上げで運営危機になるケースも多い。支えるためのカンパ集めイベントもよくある

BERLIN BESETZT

Illustrierte Karte zu Hausbesetzungen in Berlin



2026

Alle

1970

heute

かつてスクウォット、現在社会センターの Mehringhof

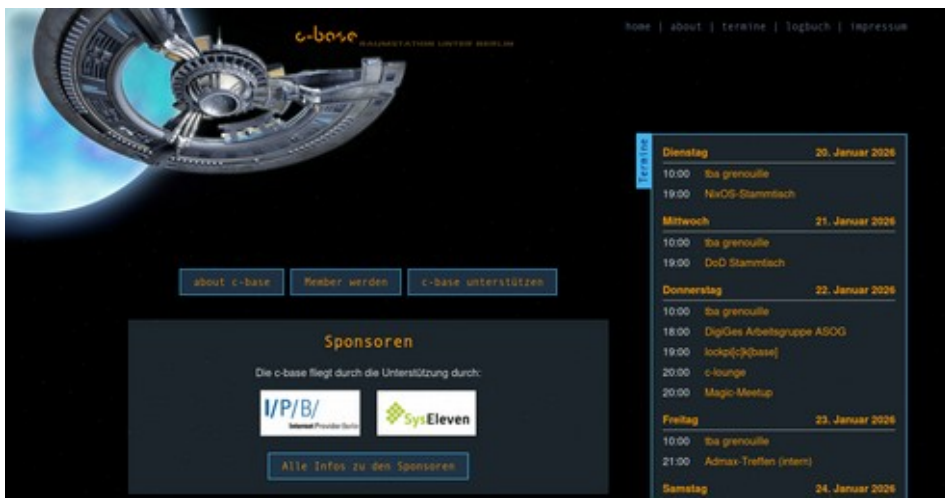
デジタルセキュリティやプライバシーに関する運動、ハックティビズムについて

Chaos Computer Club

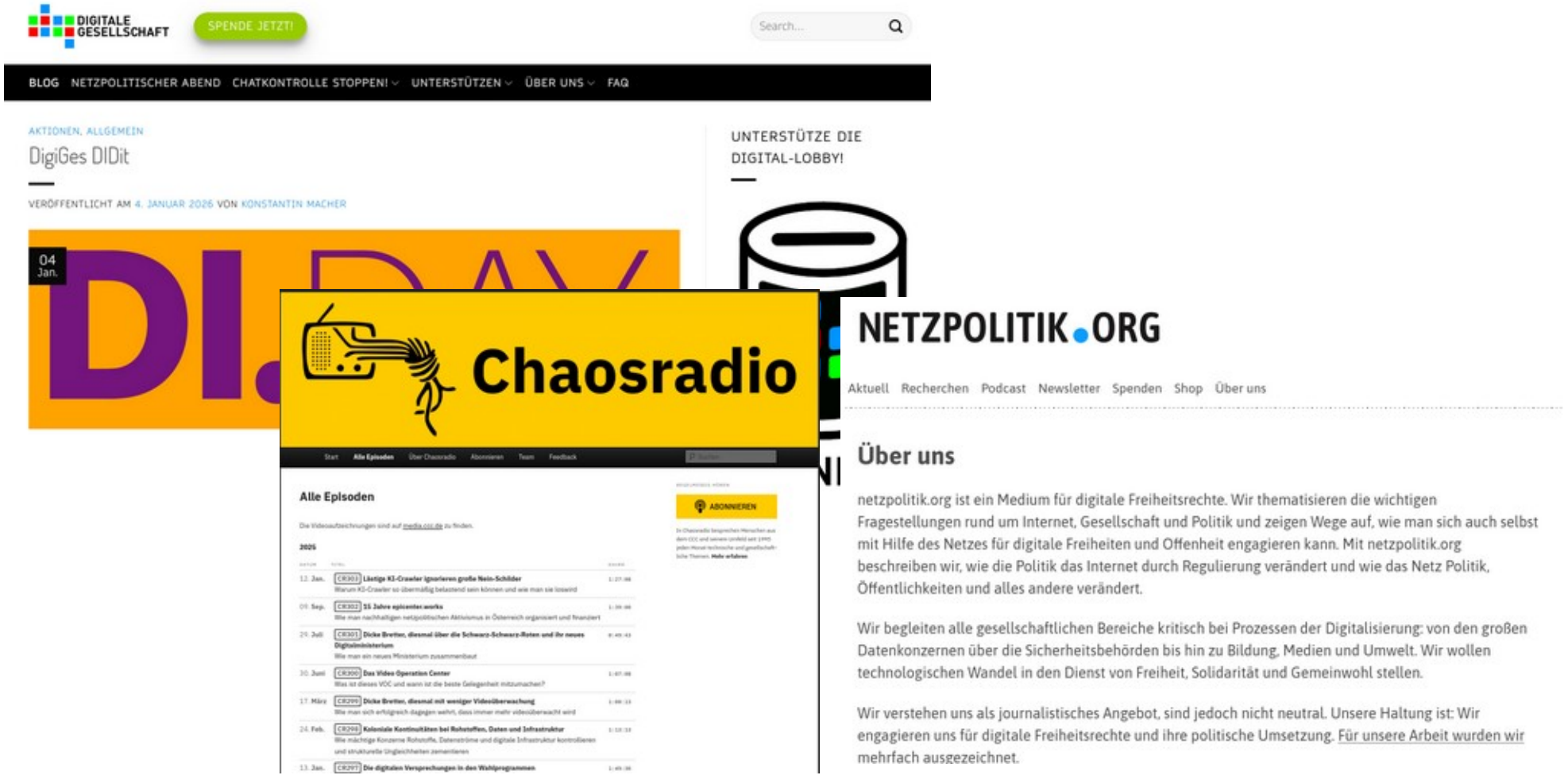
- 1981 年から存在するハッカー組織
- セキュリティ、プライバシー運動に大きく貢献
- 毎年末には大会議 Chaos Communication Congress (C3) がハンブルグで開催（ストリーミング視聴可能）

ハッカースペース

- ハッカースペース
  - ベルリンには C-base, x-hainなど複数存在
  - 会費で運営、コミュニティ、イベント場所の提供、各種工房もあり。非営利、反商業主義



権利擁護団体、市民メディアなど多数



最近のトピック： EU チャットコントロール

- クライアントデバイス側でメッセージ内容をスキャン、司法当局に送信義務付け
  - Signal 等のメッセージ暗号化が迂回されてしまう
- 2022 年以降何度か提出されている EU レベルの法制、今回はデンマークが提起
- 反対運動→スキャンの義務付けはかろうじて回避された

最近のトピック： noASOG

- 2025 年 12 月にベルリン警察が住居に立ち入りスパイウェアをインストール、監視カメラデータからの AI 顔認識処理自動化などを可能にする法案が成立

Überwachung schafft keine Sicherheit – ASOG-R stoppen!

https://buendnis-soziale-sicherheit.de/

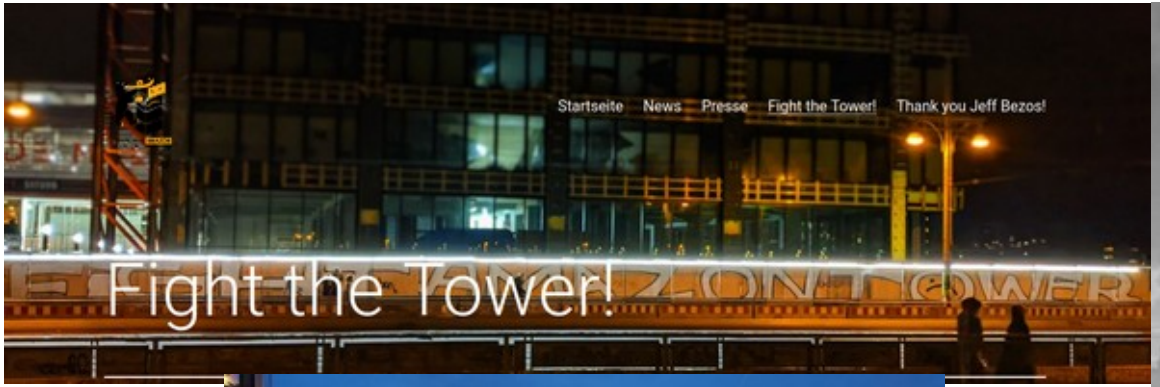
Statt Überwachung:

- „Kriminalitätsbelastete Orte und Messer-/Waffenverbotszonen“ abschaffen
- Geheime Wohnungsdurchsuchungen verbieten
- Massenüberwachung beenden – Privatsphäre schützen
- Keine Kooperation mit menschenrechtsverletzenden Firmen (Palantir, Pegasus)

Statt Repression:

- Mehr Geld für soziale Träger, Beratungsstellen und soziale Projekte
- Einbindung von Communitys und Zivilgesellschaft
- Wirklich unabhängige Ermittlungsstellen für Polizeigewalt
- Mehr Rechte für Betroffene, weniger Befugnisse für Polizei

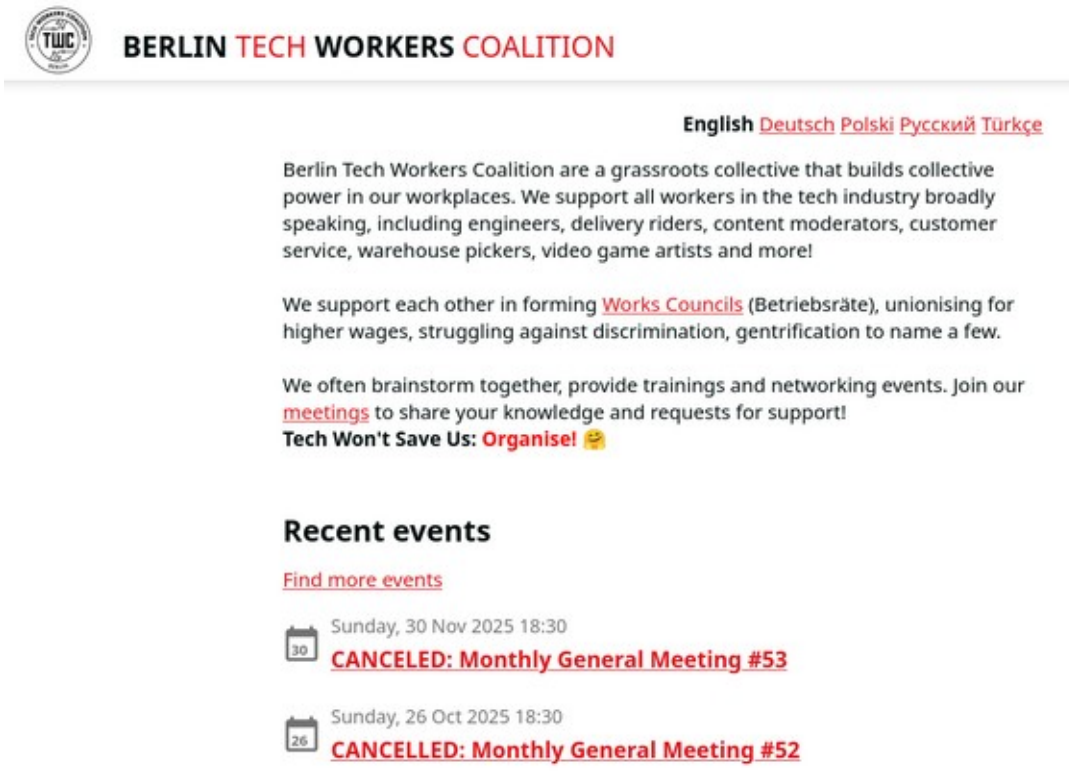
Amazon タワー建設反対運動



コンゴでの採掘主義に反対するアップルストア前デモ

- iPhone17 の販売日に合わせた抗議行動
- 巨大テック企業による植民地主義、搾取、虐殺加担を批判

テック企業での労働運動



- テック企業で働く労働者の Works Council （労働者評議会）結成をサポート
- デリバリー労働者との連帯、反 Amazon アクションなどにも取り組む

身の回りで比較的普及していること（１）

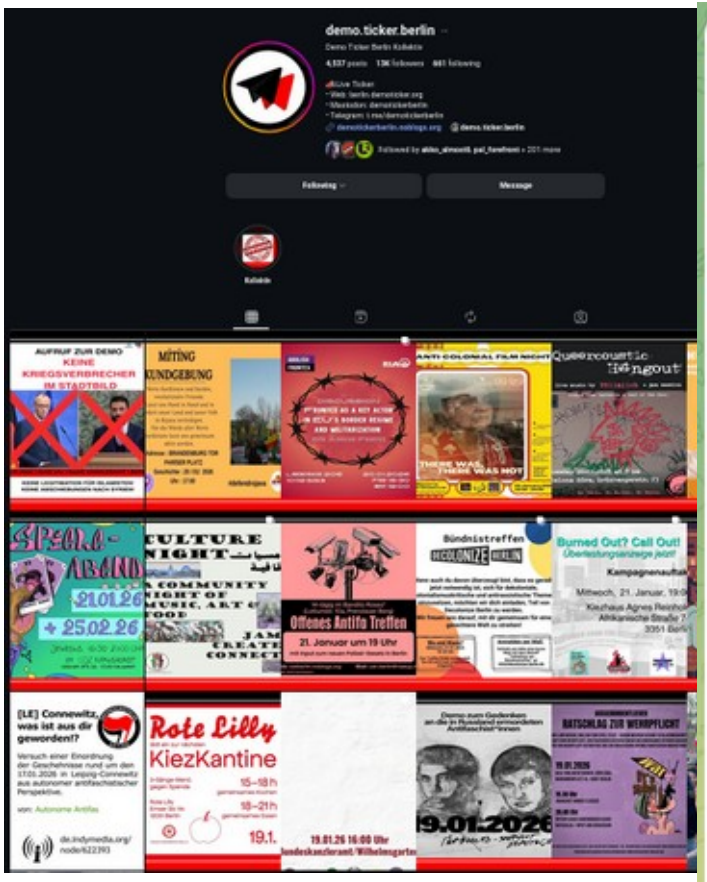
- Signalの使用
  - Meta や Google に個人情報を渡すことへの警戒感から、アクティビストでなくても使っている人は多い
- Google Docs ではなく CryptPadを使う
- Google や Bing ではなく、 DuckDuckGoや Startpageなどプライバシーが保たれる検索エンジンを使う
- 広告ブロッカーの使用
- 画像や動画を共有するときはメタデータ削除（ Signal では画像は自動的にやってくれる）

身の回りで比較的普及していること（２）

- URL メタデータ削除（ URL の？以降を削除してトラッキングを避ける）
  - だれがどういう経路で URL を共有したかという情報を与えない、人間関係を企業や司法当局にマッピングさせない
- Google Map ではなくて OpenStreetMapを使う
- 苦戦していること：情宣における Instagram への依存
- X (Twitter) はファシスト的プラットフォームという認識が広まっている、左派含めて多くの人が使っている日本の状況は・・・

デモ・イベント情報共有

- Demo Ticker Berlin コレクティブ
  - 依頼すると集会・デモ情報を自前の Telegram チャンネル、Mastodon、 Instagram にすべて投稿してくれる
  - デモ実況も行ってくれており、非常に便利
  - 技術コレクティブの systemli.org が開発したオープンソースソフトウェア Ticker を利用



Demo Ticker Berlin
english translation here

Ankündigung Dienstag #b2001 / 20.01.2026

KEINE KRIEGSVERBRECHER IM STADTBILD!
Dienstag, 20.01.2026 | 10:00 Uhr |Scheidemannstraße, 10557 Berlin

Frontex als wichtiger Akteur im Grenzregime und in der Militarisierung der EU
Dienstag, 20.01.2026 | 18:30 Uhr | Linienstraße 206, 10119 Berlin

Antikolonialer Filmabend - "There was, there was not (2024)"
Dienstag, 20.01.2026 | 18:30 Uhr | Spore Initiative, Hermannstraße 86, 12051 Berlin

QUEERCOUSTIC HANGOUT - Live-Musik von Völlmilch
Dienstag, 20.01.2026 | 19:00 Uhr | Zielona Gora Grünberger Straße 73, 10245 Berlin

KÜFA SOLISAUCÉE in der B-Lage Neukölln
Dienstag, 20.01.2026 | 19:00 Uhr | B-Lage, Mareschstraße 1, 12055 Berlin

Ankündigung Mittwoch #b2101 / 21.01.2026

UJZ Karlshorst Spieleabend
Mittwoch, 21.01.2026 | 16:30 Uhr | UJZ Hönower Str. 30 10318 Berlin

Bündnistreffen Decolonize Berlin
Mittwoch, 21.01.2026 | 18:00 Uhr | Ort bei Anmeldung
Anmeldung: info[@]decolonize-berlin.de

Kulturnacht im Zwille Reuleaux Haus
Mittwoch, 21.01.2026 | 18:00 Uhr | Zwille Reuleaux Haus, Fasanenstraße 1A, 10623 Berlin

Demo Ticker Berlin

18:30 #b1901 #FreeSyria #BijiBerxwedanaRojava
Wir sind raus für heute, danke an alle die da waren, die orga und die redner*innen.
16 hours ago

18:20 #b1901 #FreeSyria #BijiBerxwedanaRojava
Kundgebung ist beendet. Cops nehmen noch menschen in Maßnahmen
16 hours ago

18:10 #b1901 #FreeSyria #BijiBerxwedanaRojava
Cops Filmen durchgehend, verbreiten falsche Informationen und Zivis Rennen ohne Westen rum.
16 hours ago

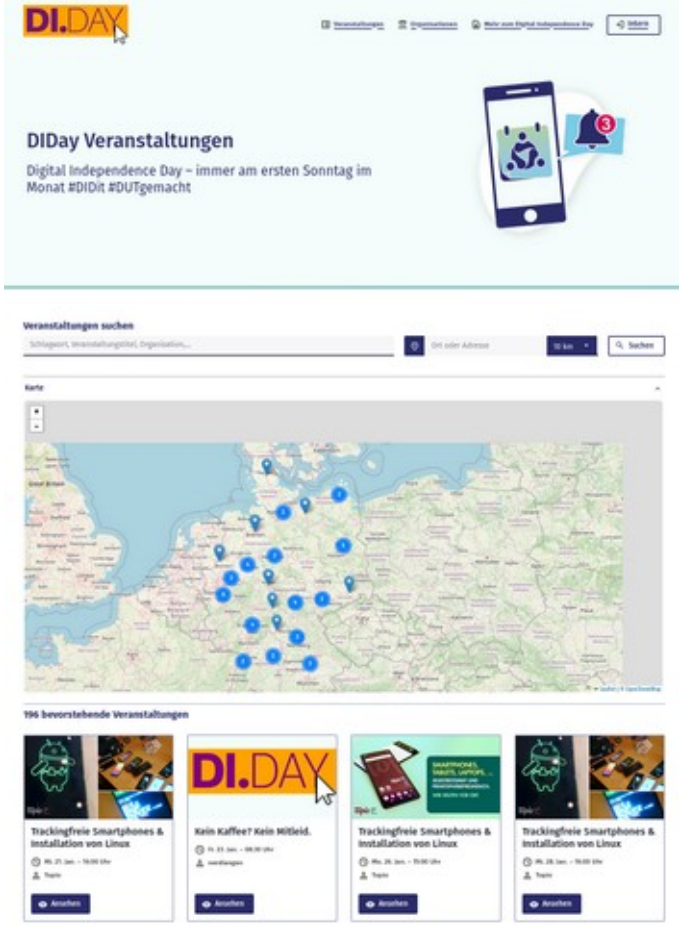
- 特定のプラットフォームに依存しない情報周知
- 実況はテキストのみ、参加者の個人情報が漏洩しないよう配慮
- 日本でも同様の試みがあるとよいのでは

デモ・イベント情報共有

- Stressfaktor
  - 老舗の情報サイト
- 各種 Signal / Telegram グループ
  - Telegram はセキュリティ面で問題が多くセンシティブな情報共有には使うべきではない

情報セキュリティ・自己防衛

- 多数のワークショップ・ジン
- 相談グループ（各地区にだいたいひとつはある）
- 2025 年末からは Digital Independece Dayとして毎月第 1 日曜日にビッグテックから脱却することを目指すワークショップが各地で取り組まれている



以降は時間があれば・・・

ベルリンのパレスチナ連帯運動

- EU 最大のパレスチナディアスポラコミュニティ
  - 当事者運動体が複数ある
  - ノイケルン区のアラブ街ゾンネンアレー→抵抗と抑圧の象徴的地域

ドイツのパレスチナ抑圧加担

- ドイツは米国に次ぐ第 2 位の対イスラエル武器供給国
  - 武器輸入も。イスラエルからの対長距離ミサイル防衛システム Arrow3 の購入 7000 億円
- 国連決議等においても一貫してイスラエルを支持してきた
- *Deutsche Waffen, deutsches Geld, morden mit in aller Welt （ドイツの武器とドイツの金、世界中で人殺し）*

どんな運動があるか

- デモ、ファンドレイズ、映画上映、署名集めなど大衆運動
- 直接行動
  - 無届けデモ、交通封鎖、大学等の建物占拠、虐殺加担企業へのアクション、イベント等のdisruption

パレスチナ運動への大弾圧

- 10・7から現在まで数千件の起訴
  - 第二次世界大戦後で最大規模の弾圧といわれる
- 「反ユダヤ主義的行為」を口実にした逮捕連発、デモ不許可
- 「民衆扇動罪 (Volksverhetzung) 」の乱用
  - 日本の左派・リベラル内では「ナチスの再来を許さない決意」として同罪を評価してきた面→再考が必要では

「反ユダヤ主義」規定による弾圧

- 首都においてイスラエル連帯の「国是」を防衛・貫徹しなければならないという強い政治的意思に基づく
- ドイツはイスラエルへの武器輸出第２位、政治・経済・軍事的紐帯を正当化
- ７～８割の市民は武器輸出に反対、イスラエルへの共感も低下
  →国家権力の暴走

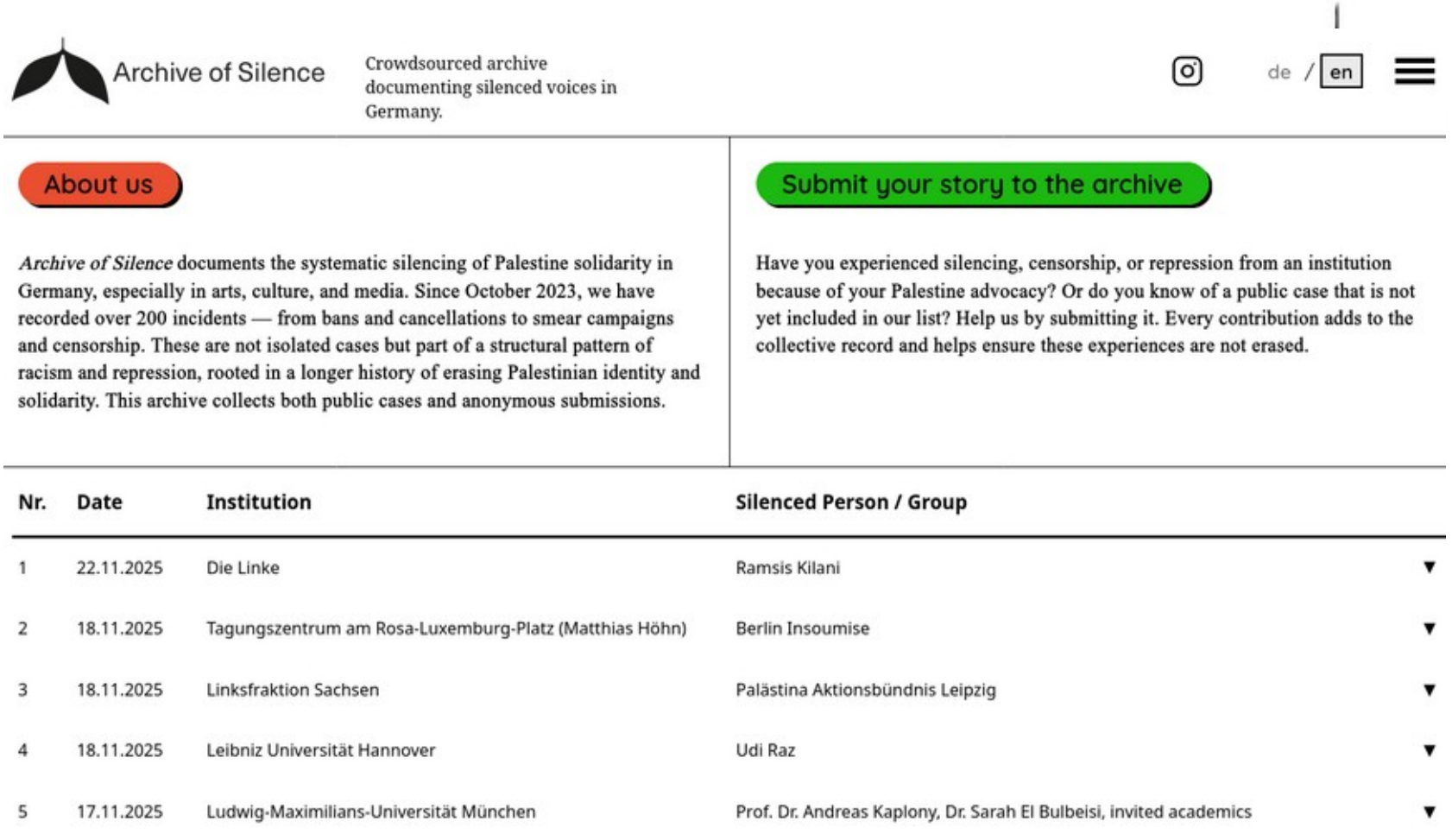
人種主義的警察暴力

- 有色人種、とりわけアラブ系と認識された人々が真っ先にターゲットに
- デモにかぎらず、レイシャルプロファイリングは移民が多い地域（ノイケルン、ヴェディングなど）において日常的に行われている→警察による取り締まり時の殺害も、 2025 年だけで複数件起きている
- 政治・警察・メディアが一体となった「治安が悪い」「危ない」「犯罪が多い」キャンペーン
  - 日本における在日朝鮮人やクルド人集住地域、あるいは日雇労働者・野宿者に対する差別と同じ構造

検閲・キャンセル・予算停止

- アフリカ・クィアフェミニズム・移民文化センター Oyoun
  - 反シオニストユダヤ人団体に部屋を貸したことが問題となり予算打ち切り、追い出し
- 女性子どもセンター Frieda
  - 職員のパレスチナデモ参加が理由で予算打ち切り、閉鎖
- その他、 Archive of Silenceに現在 248 件が記録されている

沈黙のアーカイブ


Archive of Silence
Crowdsourced archive documenting silenced voices in Germany.
de / en
About us
Archive of Silence documents the systematic silencing of Palestine solidarity in Germany, especially in arts, culture, and media. Since October 2023, we have recorded over 200 incidents — from bans and cancellations to smear campaigns and censorship. These are not isolated cases but part of a structural pattern of racism and repression, rooted in a longer history of erasing Palestinian identity and solidarity. This archive collects both public cases and anonymous submissions.
Submit your story to the archive
Have you experienced silencing, censorship, or repression from an institution because of your Palestine advocacy? Or do you know of a public case that is not yet included in our list? Help us by submitting it. Every contribution adds to the collective record and helps ensure these experiences are not erased.
Nr. Date Institution Silenced Person / Group
1 22.11.2025 Die Linke Ramsis Kilani
2 18.11.2025 Tagungszentrum am Rosa-Luxemburg-Platz (Matthias Höhn) Berlin Insoumise
3 18.11.2025 Linksfraktion Sachsen Palästina Aktionsbündnis Leipzig
4 18.11.2025 Leibniz Universität Hannover Udi Raz
5 17.11.2025 Ludwig-Maximilians-Universität München Prof. Dr. Andreas Kaplony, Dr. Sarah El Bulbeisi, invited academics

救援運動

- 既存の組織
  - Rote Hilfe
    - 毎週の無料法律相談、弁護士紹介
    - 100 年以上の歴史をもつ
    - 最近のトピック：トランプ政権の圧力により口座凍結！
  - Ermittlungsausschuss, EA
    - デモ時の待機
    - すぐ釈放されなかった場合の対応

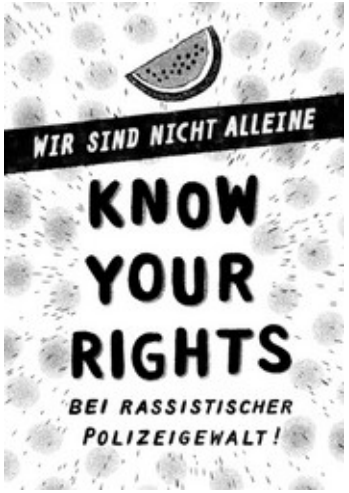
警察暴力・人権侵害の監視

- ELSC (European Legal Support Center)
  - 本部はオランダ、パレスチナ運動に特化、弾圧例を記録、キャンペーン展開
- KOP (Kampagne für Opfer rassistischer Polizeigewalt)
  - 人種主義的警察暴力について取り組む、権利周知
  - 警察暴力の写真・動画撮影記録キャンペーン

ELSC
European Legal Support Center

KOP

GO FILM THE POLICE



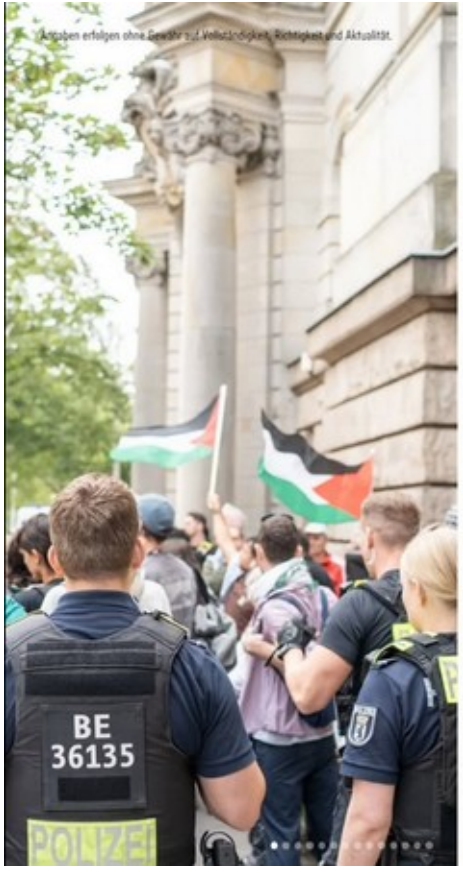
3ezwa: Palestine Legal Fund

- 新しい組織
- 毎月会費を払い、被弾圧時には弁護士費用を負担
- 法律相談
- ファンドレイズイベント

裁判支援

- 法廷監視グループ
  - 毎週の裁判予定を公開、傍聴呼びかけと裁判所前での抗議行動、重要な判決結果の共有
  - 法廷記録は不十分にしか公開されない→独自に記録をとることがきわめて重要
    - 裁判官の差別的発言
    - 傍聴参加すると、裁判官がデモ参加者に暴力をふるった警官へ感謝を述べるなどの光景がみられる・・・

裁判支援



COURT WATCH

UPDATES FROM LAST WEEK
03.11 - 07.11.2025

Last week on trial

MONDAY- 03.11.2025

What: An individual who is known to frequently provoke at Palestine demonstrations accused the defendant of having assaulted him with a Palestine flag.
Charge: Aggravated battery
Verdict: The case is adjourned

What: Several Instagram posts with an alleged connection to a banned Palestinian group. Alleged chant of "*From the River to the Sea, Palestine will be Free!*" at the ACAB demonstration in 2024.
Charge: Use and Distribution of Symbols of Terrorist and Unconstitutional Organizations
Verdict: Second day of trial. Two police witnesses were heard. One police witness was operating in plain clothes and reportedly saw the defendant initiate the chant "*From the River to the Sea...*" and demonstrators respond with "*...Will be Free!*". He described the defendant to an officer in uniform, who subsequently arrested him. The second police witness stated that he could remember very little.

相互扶助と自己組織化

- デモトレーニング
  - 色々なグループが随時行っている。デモ参加者の権利について、警察暴力への対応、身の守り方、救護など
- デモ後にくつろげる場所の確保、身体的・精神的ケア
- コミュニティ、グループ内でのもめごとにどう向き合うか
  - ワークショップ、ジンなど
- 少人数のなかま（アフィニティグループ）単位での合意形成、行動、取り組み
  - ドイツでの運動経験の蓄積
  - ベルリンでは海外（ EU 他地域、中東、米国、アジア）から持ち込まれる経験も多い

平和の少女像「アリ」をめぐる取り組み

平和の少女像「アリ」

- 2020 年 9 月にミッテ区モアビットの道路に設置
  - 芸術作品展示として、地区の承認を得た
  - アルメニア語で「勇気」という意味
  - 以前より、移動可能な「ヨンイ」はデモや展示会などに登場

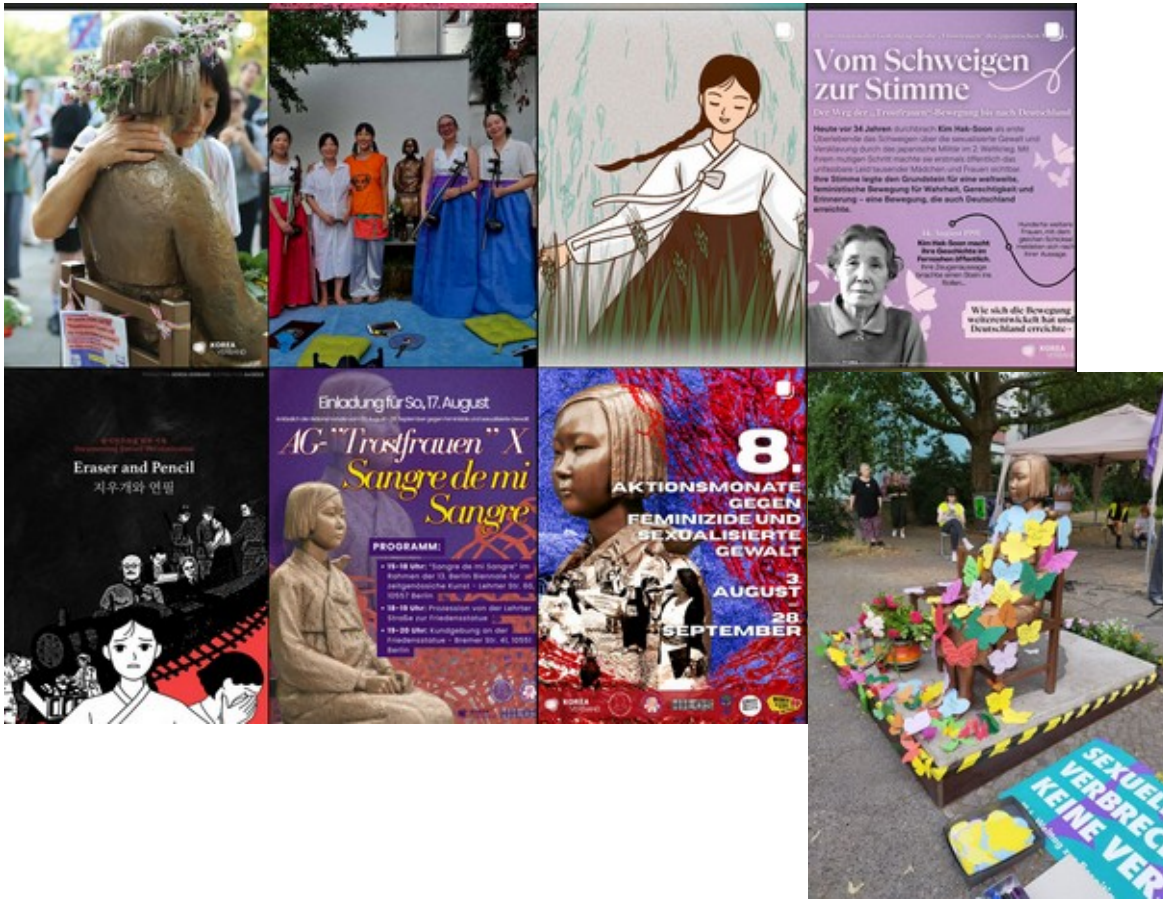
像を取り巻くコミュニティ

- 韓国移民コミュニティ
  - 1970 年代前後に看護師や炭鉱労働者として西ドイツに移民してきた人々が第一世代
  - 1980 年代、光州民衆蜂起などをきっかけに韓国民主化闘争との連帯
  - 1990 年代以降は日本軍「慰安婦」問題などに取り組む。在ベルリンの日本出身女性グループとも連帯
  - 二世やニューカマーの韓国出身者たちも多い
- さまざまな移民グループ、女性グループ、地域住民など幅広い人々が像に集い、関わってきた

日本政府・極右による妨害

- 日本大使館からの撤去要請
  - ドイツ政府は「地区の決定であり関与しない」との立場
- 2020 年に撤去が区議会で一時決議されたが、くつがえす
- 少女像をテーマにしたワークショップを企画した地元の学校、像を支持した政党への日本極右による嫌がらせ抗議メール
- 2022 年 6 月 、韓国右翼の訪独抗議（当初日本の極右も来るとのことだったが結局来ず）

像をきっかけにした取り組み



- 紛争における性的暴力根絶のための国際デー（例年 6 月 19 日）
- ワークショップ、コンサート等
- 地域住民からも受け入れられ親しまれる

撤去の動き

- 2023 年 3 月よりカイ・ヴェーグナー（ CDU ）市政
  - CDU ・ SPD 連立、緊縮財政、文化予算カットなど右転回

撤去の動き

- 2024 年 4 月にヴェーグナー市長が日本訪問
  - 上川外相（当時）と会談後に少女像について「解決の見通しが立った」と発言
- レムリンガー区長（緑の党 / 同盟 90 ）が「設置期限切れ」だとし、撤去通告

撤去に抗議する５・２４市庁舎前デモ

- 日本出身のなかまたちでオーガナイズ

８・１４メモリアルデー

THE JAPANESE MILITARY
Against sexual violence and slavery in wartime!
Resolve the "Comfort Women" issue immediately!
Japanische Fraueninitiative Berlin

Wir protestieren
gegen die Geschichtsverfälschung
der Japanischen Regierung!
sexual violence and slavery in wartime!
the "Comfort Women" issue immediately!
Japanische Fraueninitiative Berlin

「普遍的な像」

- CDU、緑の党関係者が SASVIC なる団体を設立
- 英国の芸術家レベッカ・ホーキンスの作品「石化したサバイバーたち」が「普遍的な像」として区により選定される
- 撤去のために新しい像を持ってくるというグロテスクさ
- 「アリ」が普遍的な意味をもつ像だということに対する無視・侮辱

撤去の動き

- 区民から数千筆の署名が集まり、区議会での議題として取り上げさせる
- 区役所前集会
- 1 年間の延長（ 2025 年 9 月まで）を勝ち取る
- しかし再度撤去命令、行政裁判所に差し止めを申し立てるが敗訴
- 敗訴翌日の早朝より強制撤去

２０２５・１０・１７強制撤去

- 早朝から 30 名の警官を動員し強制撤去
- 撤去先を聞いても答えず
- 撤去料を設置主体の Korea Verband に請求

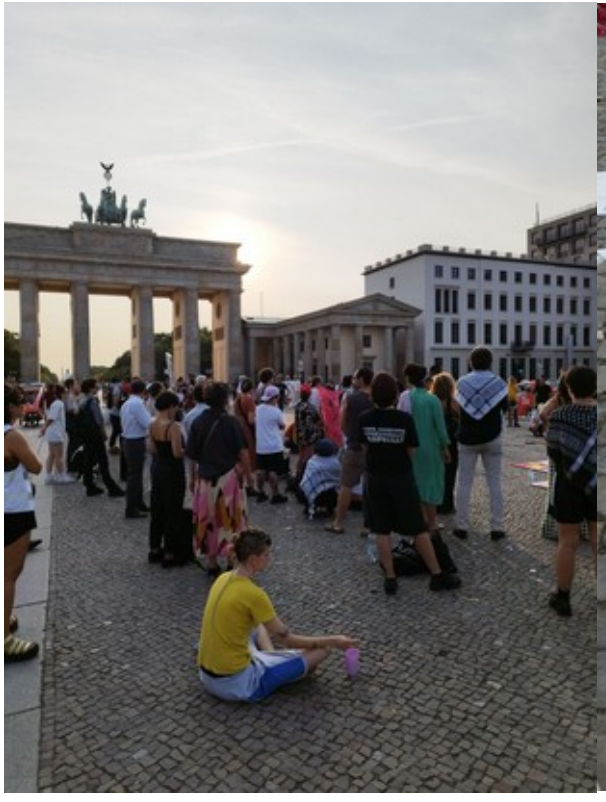
強制撤去その後

- 「アリの場所」での集会
- 各団体より抗議声明
- 日本出身者からもメッセージをつのり公開
- もとの場所すぐちかくの芸術センター ZK/U に 1 年限定で再設置、 2026 年 1 月 22 日に除幕式

撤去が意味するもの

- ドイツが誇る「記憶の文化」のダブルスタンダード性
  - シンティ・ロマ虐殺記念碑やアルメニアジェノサイド記念碑の撤去問題、ナミビア植民地責任問題などと通底
- ドイツ政治・社会が右傾化するなかで、公的空間における脱植民地化運動がつきあたる限界、バックラッシュ
- 普遍的な解放・歴史的・現在的正義を訴えているテーマが「東アジアの特殊な問題」「複雑な問題」だと切り縮められる
  - パレスチナ問題と共通する構造

2025 年 8 月 9 日「すべての植民地主義を解体しよう」デモ



関連 Instagram & Zine

「すべての植民地主義を解体しよう」
２０２５年８月９日ブランデンブルク門前集会
スピーチ集（日・独・英）